

中央公民館改築整備基本計画づくり 第3回ワークショップ

日時：令和2年11月21日 10:00～12:00

場所：中央公民館別館3階 大研修室

次 第

1. あいさつ
2. 前回のふりかえり（事務局）
 - ・意見まとめ、アンケート
 - ・資料の説明（イメージ・部屋の規模・配置の考え・メリット/デメリット）
3. ワークショップ
 - ・進め方の説明（事務局）
 - ・各班でのワークショップ（役割分担／意見交換）
 - ・各班より意見の発表
4. その他（次回日程、ふりかえりシートの提出）

全体スケジュール ～ いつ、何について話し合うのか ～

◆第1回ワークショップ：8/22（土）

- ・自己紹介、意見発表

◆第2回ワークショップ：10/3（土）

- ・各班で役割を決めていただきます
- ・設定したテーマを中心に意見交換をお願いします

◆第3回ワークショップ：11/21（土）：今回

※資料3のみ、当日の配布となります

- ・第2回ワークショップ結果を踏まえたイメージ、規模、部屋の配置（案）の提示
- ・配置計画の具体化に向けた意見交換

◆第4回ワークショップ：R3.1月中旬ころ

- ・第3回ワークショップの結果を踏まえて、基本計画（素案）の提示
- ・修正とりまとめ方針について意見交換

◆第5回ワークショップ：R3.3月上旬ころ

- ・基本計画（案）、イメージ図について説明
- ・今後の検討課題（積み残し）や運営へ参加について意見交換

※ 新型コロナウイルス感染拡大状況により、開催形式を変更する可能性があります。

※ スケジュールや内容は、意見交換の進み方等に応じて適宜、見直していきます。

中央公民館改築整備基本計画づくり 第2回ワークショップ記録

【 A班 】

司会進行役：幸山 由佳
発表役：柳沢 正康
議事メモ役：三宅 桂子
タイムキーパー役：木野本 真理
A班メンバー：山口 允己



【 B班 】

司会進行役：皆川 朋枝
発表役：長砂 佐紀子
議事メモ役：全員
タイムキーパー役：井上 和世
B班メンバー：中田 貞之
：百田 茂雄
：池田 廣子



【 C班 】

司会進行役：中村 新吾
発表役：長砂 伸也
議事メモ役：全員
タイムキーパー役：長尾 凛太郎
C班メンバー：大池 景子
：中島 敬子



【 D班 】

司会進行役：永易 秀人
発表役：柳沢 哲太郎
議事メモ役：全員
タイムキーパー役：柳沢 香保理
D班メンバー：田口 久美子
：永田 正明
：安田 義明



中央公民館改築整備基本計画づくり 第2回ワークショップ記録

意見まとめ

必要な機能	第1回ワークショップ・ふりかえりシートの意見を踏まえた整理	追加する意見・具体的な内容 (追加する利用・機能、優先する内容)	みなさんが運営に参加・協力できる内容 (教える・手伝う・提供する・協力する ／人手・物・技・知恵)	目安となる大きさ・機能など (利用人数・面積・設備)
新しい機能	・多世代が交流できる場所 ・天王山の景色を見ながらお昼をたべる場所 ・居心地のよいカフェスペースや 共同のリビングルームのような場所 ・気軽にランチや散歩の途中に 一休みしたくなる空間 ・家の外の居場所として仕事や学習の場所 ・フリーに使えるミーティングスペース ・テラスとの行き来が自由なオープンな建物	【 個人利用 】 ○パーソナルスペース（小部屋） ○いたるところにイス・テーブルを配置 【 交流・共有 】 ○屋上の芝生広場、テラス ○ギャラリー ○マルシェ（町の中心に向かって開く） 【 店舗 】 ○チャレンジショップ、テナントスペース ○カフェ、バー ○子ども食堂 ○コワーキングスペース	○子ども食堂のボランティア（実施中） ○マルシェボランティア、土曜市の運営 ○壁の塗り直しボランティア ○ボランティアで手伝う運営の場をつくる （シルバー世代等） ○人材発掘の仕組みが必要	○開放的なロビーを中核とする建物に ○いろいろな目的の部屋がつながる壁のない シームレスな空間、柔軟に使える場所 ○広く見渡せる景色の良いテラス ○屋上を緑化（芝生）してイベントにも利用 ○芝生と部屋を一体的に利用 ○公民館機能を絞り、建物の高さを抑える ○風通しが良く、夏は涼しい場所 ○オープンスペースにミーティングスペース ○木材を使い、木の香りが漂う空間
図書機能	・中高生が利用できる自習室 ・レファレンスサービス（調べものサポート） ・こどもが自由に利用できるスペース ・読書会、読み聞かせ会、映画鑑賞などの交流	○レファレンス機能（独立したカウンター） ○図書の充実 ○Kids スペース／静かなスペースの仕分け ○視聴覚室（視聴覚資料） ○学習スペースの充実 ○PC（調べもの用）、コピー機の設置	○散歩時の図書運搬（UVER 図書館） ○読み聞かせ、劇のボランティア（実施中） ○夜間開館のお手伝い（ボランティア） ○中高生利用に対するボランティア ○図書館ボランティア（本の修復・整理） ○企画会議への参加	○現状の2～3倍の大きさが必要 ○庭をつくる（緑・砂場） ○テラス席をつくる ○分館機能を考える（自治会館等） ○夜間利用、運営の体制（正規職員の有無検討）
公民館機能	・発表の場としての大ホール ・コロナ禍でも集える場所 ・子育て世代にも使いやすい場所 ・レンタルワークスペース（テレワーク対応） ・放課後に中高生がギターやダンスを 習ったり教えたりできる場所 ・部屋の区切りを一部ガラスにする（一体感） ・小学生の放課後の居場所	○レファレンス機能（子どもの利用など） ○ゆめほっぺ（子育て、ベビー利用） ○防音室（ピアノ・音響機器の常設） ○陶芸施設、芸術室 ○和室（畳の広間、茶室） ○調理室	○パソコンを教える ○町民プロフェッショナルの話を聞く ○ヨガ教室、料理教室、茶室文化 ○夜間利用	○大ホール：250～300人程度 ○和室：20畳以上（分割できる利用） ○ゆめほっぺ：屋外との一体利用 ○アプローチの利便性（趣味の機材持ち込み）
保健センター機能	・各種健康診断等の場所 (臨時利用中：ゆめほっぺ)	○子育て相談、健康相談の窓口 ○多用途利用（健康診断時以外に貸部屋） ○簡易ジム運動施設 ○複合化しない	○親子サロン ○保育、ママさんリフレッシュのボランティア	
老人福祉センター機能	・長寿苑を複合化する必要性は無い(ご意見) (大広間・貸し室・ビリヤード・浴室)	○複合化しない ：A班、C班、D班 ○複合化する ：B班	○高齢者サロン	
その他の視点	・芸術文化のまち、シンボル化、コンパクト化 ・コロナ後の利用に対応するスペース ・災害避難場所／バリアフリー（※次回以降） ・使用料（※次回以降） ・アクセス利便性（※別途）	○インターネット環境（Wi-Fi）、掲示板 ○駐車場の充実 ○緑化、省エネ、地下水利用 ○町民の持ち込み企画を行政が支援して実現 ○ジェンダーフリー	○多世代交流の具体化方法を検討 ○施設利用料ではなく、ワンコインのコーヒー 軽食への支払い（お金の回し方） ○自己実現（小さなことからつながる場） ○コミュニティバス（※別途）	○町の人口に応じた規模 ○デザイン性の高い良質な建築物 ○しっかりした空調、換気の重視 ○メンテナンスの重視 ○予算とスケジュール（目安の設定）

中央公民館改築整備基本計画づくり 第2回ワークショップ記録

必要な機能	追加する意見・具体的な内容 (追加する利用・機能、優先する内容)	みなさんが運営に参加・協力できる内容 (教える・手伝う・提供する・協力する ／人手・物・技・知恵)	目安となる大きさ・機能 (利用人数・面積・設備)
新しい機能	・子ども食堂をする ・(大山崎町限定の) 商売が出来るスペース (お金がまわる) ・フリースクール教育センター ・児童館 ・インターネット環境 ・中高生が自習以外に使える場所 ・家や職場の機能にもなり、誰でも集える場所 ・高額なピアノが置き去りにになっている ・大ホールはダンスや太鼓の練習の場	・子ども食堂のごはんをつくる ・大山崎町民のプロフェッショナルな人の話を聞く ・パソコンを教える (タブレット・ネット環境など) ・中高生が関われる様、教育委員会・各ボランティア協力	・ホール300～400人 (ホールらしく！) ・町民の規模に応じたもの ・メンテナンスをしっかりと ・完成はいつを考えている？ ・有効な土地を使った低層階 ・予算は総額いくらか？ (調査費、設計費、工事費含む) ・メンテナンスの充実 ・使用者のマナー基本
図書機能	・情操教育ができる ・勉強スペース ・多機能な世代交流可・飲食やおしゃべり可 ・図書フリースペース ・若年層を呼び込める ・図書室を図書館にする点が曖昧	・図書館と図書室の区別をして考える ・読書会、読み聞かせ会 ・図書ボランティア	・庭が欲しい (砂場や緑) ・空調をしっかりと！ ・木材をふんだんに使った建物
公民館機能	・部屋使用料を区分設定する (1h毎など) ・認知症予防関係 ・空きスペースのシェア ・保護者相談室 ・コロナの自粛期間、お年寄りの受けたダメージは大きい ・ハード・ソフト面で「使い易い」公民館	・人材探し	
保健センター機能	・ゆめほっぺの中庭使用 ・保健センター機能を含める必要はない	・親子サロン	
老人福祉センター機能	※改築対象に含めるか・含めないか ・保健センター・老人福祉センターを含める必要はない。現状維持でいいのでは？	・高齢者サロン	
その他の視点	・新素材を使ったデザイン性のある建物 ・建築としての魅力！ある施設 ・ゆったりとした空間 ・赤ちゃんからお年寄り、身体障害者を含めバリアフリーは必須 (ジェンダーフリーも)		

中央公民館改築整備基本計画づくり 第2回ワークショップ記録

B 班

必要な機能	追加する意見・具体的な内容 (追加する利用・機能、優先する内容)	みなさんが運営に参加・協力できる内容 (教える・手伝う・提供する・協力する ／人手・物・技・知恵)	目安となる大きさ・機能 (利用人数・面積・設備)
新しい機能	・各地域自治会館に分散型施設をつくる ・巡回移動図書館カー ・町民チャレンジショップ（テナントや空物件が少ないので飲食を公募、格安で起業） ・5Gなど強い通信w i f i ・カフェでお酒がのめる（イベントとしてでも） ・ギャラリー（絵・写真等の展示）、屋上芝生広場（地球温暖化対策で屋上緑化） ・「交流」だけでなく、一人で居ることも許されるような場 ・紫波町はテナントなどで「稼げる」公共施設だった。そういう追及があっても良いかも？ ・町民の考えた企画・アイデアを実現できる（行政が相談に応じバックアップ）機能が欲しい。例えば、不用品の譲渡掲示板、コンポスト講座、発意が実現されるサポート	・（分館施設）について、散歩ついでに町民が本を運ぶ（子供の身守・健康管理・u v e r図書館） ・施設の壁は壁紙ではなくペンキにして、ボランティアで塗りなおす等、メンテナンスをしやすいとする	・ロビーを広くして、コーナーを設けて、多機能的・開放的なスペースが良い ・ミーティングスペースをつくる ・利用人数約280名、利用個所（各個別の部屋、ホール（舞台を含む）） ・サークルで和室が欲しい（20帖以上、分割できると良い） ・大ホールの屋根はシンボルとして、目立つ外観、ちょっと寄ってみたいくなる施設
図書機能	・学習スペースの拡張化 ・書籍の増冊 ・視聴覚資料（CD、DVD等）と視聴覚室 ・コワーキングスペース（強いw i f i） ・（マッサージチェアでも）運動しながら聴覚読書 ・k i d sスペースと静かな空間を分けてつくる ・保健センター・老人センターのニーズを反映した図書コーナー	・レファレンス機能（カウンターをわける） ・コンビニで本返却（ポストをふやす？） ・本の配達サービス ・図書の修復等、手伝いたい ・図書館友の会等、専属のボランティア団体をつくる ・伊丹図書館のように、企画会議があれば参加したい ・小学校で図書ボランティアとして活動中、読み聞かせや小さい劇をしているので、お役に立てるかも	・図書室機能は充実して欲しいが、「館」にして正職を増やす…となると、ジレンマを感じる ・学童指導員や保育士も足りていないし…
公民館機能	・防音室（ピアノ・音響機器常設） ・多目的室（フローリング床、壁に鏡、ダンスの練習等） ・サークルの拠点は公民館の各室、またホール・舞台の施設であり、充実を希望する ・日本文化の伝承、普及のためのスペースが欲しい ・掲示板（サークルやボランティアの活動告知） ・陶芸施設をよりオープンに、ものづくり設備の充実 ・子育てサークル、ベビーや小さな子供達が活用するスペース ・多世代の交流ができるスペース ・和室が好ましい ・調理室も欲しい ・年齢幅、男女幅、共広く利用出来る施設になれば ・理想としては複合施設として出来るだけ機能を備えた箱物になれば良いと思う ・趣味を伴うサークルとして行きたくなる、また動きやすい場所になれば良いと思う	・子育て中の方だけに関わらず、お料理教室や、ヨガ等のイベント企画 ・仕事をリタイヤした人が運営を手伝える場 ・茶室空間（待庵）文化の学び ・音楽・芸術施設をつくる、防音スタジオ、ファブラボ ・子育て支援員をして、保育をしたり、ママさん達のリフレッシュの場を提供できる（ボランティアとして）	・『スマイルプレイス』子育て支援サークル、一度のサロン開催で20組以上の参加、和室であれば、20畳くらいほしい
保健センター機能	・ゆめほっぺ（未就学児が利用）現在場所が無く、保健センターを間借り中 ・バンビオにあるような乳幼児が遊べるスペース。コーヒー飲みながら見守れるような… ・常時利用できる場所の確保 ・子育て支援施設（情報交換、相談交流の場） ・健康器具、ジムにあるような、それ目当てで来てくれるように	・簡易のジム運動施設	・ゆめほっぺは1Fで外と中がー帯となる
老人福祉センター機能	※改築対象に含めるか・含めないか ・複合化すべき、町民アンケートでニーズや財政状況に見合った内容に見直す意見70% ・建物、設備等、老朽化更新時期が近付いている（築40年経過）		
その他の視点	・建物を複合する事で、共用スペースが集約され、空間の活用が有効的 ・地球・温暖化対策（緑化と省エネ設備） ・適正な使用料、近隣市町、町の他の施設の料金を勘案して決める ・山荘美術館聴竹居のような良質な建築、民芸、ものづくり	・利用すること	・新しい機能の追加で現在の面積と同等か少なくする ・駐車場の拡大

中央公民館改築整備基本計画づくり 第2回ワークショップ記録

必要な機能	追加する意見・具体的な内容 (追加する利用・機能、優先する内容)	みなさんが運営に参加・協力できる内容 (教える・手伝う・提供する・協力する ／人手・物・技・知恵)	目安となる大きさ・機能 (利用人数・面積・設備)
新しい機能	・小さな防音室（練習室） ・絵をかきたくなる場所、テラス ・一日いれる場所 ・取り残さない取り組み（仕掛け、入ってしやすい安心感が必要） ・居場所になるスペース ・あちこちに集まる場所、ゆっくりできるイス・テーブル ・児童館、子どもの居場所・広場 ・個人で借りられる小さなスペース ・大山崎に店を出したいと思うスペース ・飲食・物販の出店ができるテナント ・視聴できる場所（映画・音楽）		・テラス、芝生のスペース ・いろんな目的の部屋が空間でつながっている ・真ん中にロビーがある ・壁なしシームレスな空間＋小さなスペース ・風通しの良いスペース、夏は涼しい場所 ・パーっと上がると、広く見渡せる屋上（テラス）
図書機能	・窮屈感のない、入りやすい（いつの間にか図書館） ・自由に使えるPC、本に限らない調べられる機能 ・本を通じたコミュニケーションできるスペース（話せる） ・生涯学習のレファレンスサービス		・テラス席のある図書館
公民館機能	・民間が入れるようにする ・発表ができる場所（自由な目的で使う） ・サークルの練習風景が見える ・時間で使える内容を変える、一日中使える ・公民館の夜の利用（もうかる仕組み）、カフェ、バー		・音楽機能を強める（防音のホール等） ・趣味に合わせた荷物、それを持ち込むアプローチの良さ
保健センター機能			
老人福祉センター機能	※改築対象に含めるか・含めないか ・今の長寿苑とのつながりを持たせる（スペースの共有・連結感）		
その他の視点	・自分探しの場所にする（小さなやりたいこと、つながってもう少し大きなこと） ・年代のクロスどうするか、どうやってするか ・町の大きな機能としての役割 ・部屋のレンタル代を払うのか、ワンコインのコーヒー、食べ物にお金を払うのか（ハードル下げる、お金の回し方） ・コミュニティバスの運行 ・コミュニケーションする場所		

中央公民館改築整備基本計画づくり 第2回ワークショップ 作業記録

必要な機能	追加する意見・具体的な内容 (追加する利用・機能、優先する内容)	みなさんが運営に参加・協力できる内容 (教える・手伝う・提供する・協力する ／人手・物・技・知恵)	目安となる大きさ・機能 (利用人数・面積・設備)
新しい機能	・w i f i ・長岡京バンビオのサポートセンターのようなもの ・コピー機、印刷機 ・マルシェ ・テナント機能 ・利用しやすい庭、OPENSPACE ・屋上の有効活用（緑化、テラス等） ・OPENCAFFE、目的なく集う機能	・土曜日等の運営、マルシェボランティア？	
図書機能	・長時間読書していただける場所にして欲しい ・蔵書を増やす ・大山崎町の歴史、文化等、資料の充実 ・コピー機の設備（コピー代を安く） ・貸出・返却カウンターとは別の相談カウンターを設置	・夜間開館のお手伝い（ボランティア） ・イベント企画の起案・運営の手伝い ・図書館ボランティア（本の修復・整理・お話会など）	・せめて2倍、出来れば3倍 ・木の香りただよう空間
公民館機能	・町内イベント、NEWS等の集積所としての機能 ・目的なく訪れて、次の目的を発見できる ・防音室（音楽団体に貸せる） ・多少子どもがはしゃいでもおこられない空間 ・中高生、社会人が帰りによっても利用できる施設 ・ギャラリー、ロビー ・打合せスペース、ロビーの談話スペースでない机・椅子 ・部屋ほどではなく、さっと使える机や椅子		
保健センター機能	・健康診断等で利用しない時は貸部屋（会議室等）で利用すればよいのでは ・公民館レファレンスとして健康相談窓口を公民館にくみこむ？		
老人福祉センター機能	※改築対象に含めるか・含めないか ・複合施設のためには3つ以上の施設が入る必要あり ・含めなくてよい（利用している方の不満はないので）		
その他の視点	・地下水利用、井戸利用、人集まる ・駐車場は充実していないと… ・バス（無料） ・バンビオ、I F、カフェと子どもスペース		・換気、広い空間（ハメ殺し窓はNG）

第2回ワークショップふりかえりシート【主な意見:キーワード】				
②新しい機能として「一番、重視すべき」こと	③図書機能として「一番、重視すべき」こと	④公民館機能として「一番、重視すべき」こと	⑤老人福祉センターは改築対象に含めた方が良い？	その他 アイディア、次回の進め方など
居場所、ロビー、フリースペース、オープンスペース、テラス、ベンチ、カフェ、チャレンジショップ、テナント、町のシンボル、自治会館との組合せ、バリアフリー、緑化、省エネ、ネット環境	子ども、自習・読書、閲覧スペース、動と静の仕分け、イス・テーブル分散、図書士、レファレンス、コンシェルジュ、立ち寄り、開放	多世代交流（ロビー、カフェ、ホール、テラス、屋上）、居場所、快適、個人利用、ミーティングスペース、ワークスペース、フリースペース、ギャラリー、情報掲示 音楽、陶芸スペース、趣味 レファレンス、調整機能、ネット環境、コピー機、ネット予約	含める :8名 含めない :9名 分からない :3名	チャレンジショップ、来館の動機、学びのカンファレンス、人材バンク、等身大の事例、予算、事業スケジュール、マルシェ、井戸設置、コミュニケーションとデザイン、利用者の限定なし、サードプレイス
回答内容の一覧				
②新しい機能として「一番、重視すべき」こと	③図書館の機能として「一番、重視すべき」こと	④公民館の機能として「一番、重視すべき」こと	⑤老人福祉センターは改築対象に含めた方が良い？	その他 アイディア、次回の進め方など
地球温暖化対策、緑化と省エネ設備	視聴覚室、資料	多世代交流、多目的利用	1. 含めた方が良い	
役場近くの公共施設群の場所である為、範囲の広い機能発揮が出来れば...	私の理想としては就学前児童からシニア世代に至るまで多岐にわたる書籍内容の充実を計って頂きたい	各種会合、勉強、趣味、等々の集いの場所として幅広く利用出来る機能がほしい	1. 含めた方が良い	
多世代が交流できる場所 エレベーター設置	町民の方たちが自由には入れるよう又、いすなど多めに	発表の場としての大ホール、子どもたちにも使用出来る様	1. 含めた方が良い	使用料を現在より高くしない ホールの前にはロビーを広く取り、カフェなどが出来ればよい
子ども～若者の居場所、ひとり親家庭等困窮家庭の受け皿になる	蔵書の拡大	すべての世代に利用しやすい	1. 含めた方が良い	
ネット環境の充実	学習スペースの拡張	多世代交流ができるようなスペース(ロビーやカフェコーナー)	1. 含めた方が良い	
中央公民館だけでなく、各地域の分館(自治会館)と組み合わせ 全地域でサービスを受けられる工夫を取り入れること 本の配達サービスや、配達員に散歩する町民に協力を得るなど、中央公民館と、分館のネットワークを念頭におきながら計画できればと思います。	・本との出会いを促すような工夫 小さい子には読み聞かせをしたり、学生には学生のうちに会いたい図書をおすすめしたり、レファレンスの機能自体を知ってもらったり、椅子や机など読書を長時間味わえる空間があったり、高齢者には聴覚読書など老眼でも楽しめる読書体験を提供したり、どんな世代もが、本を通して学び楽しめる空間・サービスができ、大山崎が「人を育てる町」になりその顔となるような図書館になれば嬉しいです。 おそらく面積が小さいため電子書籍の貸し出しサービスもあるとよいと思います。	・快適な居場所づくりの工夫 誰もが理由なく過ごしたくなる場所があれば嬉しい ベンチやテーブルが数多く設置、飲食スペース、ギャラリー コワーキングスペースとして活用できるようなブース、ジム 音楽スタジオブースの増設や陶芸スペースの整備、和室など文化芸術のためのスペース ほこりをもてる建築としての美観/屋上庭園 ローカル5G導入・強い通信設備→役所の効率もUP	1. 含めた方が良い 機能を公民館とかねられることで予算削減にもつながる	「チャレンジショップ制度」 大山崎は地域魅力から出店したい人が多いが、テナントがなく諦めるケースが多い。 町での起業を応援するために、公民館の機能にもなるような出店者を募集 町民による投票などで決定。比較的安価なテナント料を徴収、もしくは売り上げの%を納付。任期を1～2年とし、その間町の空き家活用など の整備を進め、テナントの確保や、出店までを応援する。 職住一体の店舗が多く、高齢化で店舗をしめたところも多い。 間貸しなどを町からも相談できないか？
ロビー機能。単にソファがあつてくつろげるだけのロビーではなく、交流の生まれるロビーである必要があると思う。ある時はギャラリーに、ある時はバザーやガレージセールの会場に、ある時は住民の結婚式をやったり。 ロビーは公民館の各機能をつなぐハブの役割になる、とても重要な要素と思う。	子供が多少おしゃべりしてもよい「動」のスペースと、自習や読書などを静かにおこなう「静」のスペースの棲み分け。「動」の中心になる児童書のコーナーは、ロビーや子育て支援にはみ出す(融合する)形であっても面白いのかも。	単なる貸し館にならないための、レファレンス機能。老人福祉や保健、子育て支援や生涯学習などのサービスをつなげ住民をエンパワメントするスキル・サービスと、行政横断型の調整機能が必要と思う。	1、含めた方が良い	・各施設の機能がばらばらのまま一つの施設に押し込めるのではなく、融合させることに複合化の意味があると思う。それをどこまで煮詰められるかが鍵になる。 ・来館の動機になるようなものは多くあったほうがいい。健康機器、ゲーム(ビリヤード、ボードゲームなど)、浴室、ギャラリー機能、自習室、コワーキングスペース、wifi、図書など。
テナント、チャレンジショップなどのスペース。	自習・集中読書スペースと、話してOKスペースの区分け	会議室っぽさをなくした使い勝手の良い空間や、1人でも借りられる使い勝手の良い仕組み。	1. 含めた方が良い	「チャレンジショップ」でできた「まちのガレージセール」機能も、よいと思う。した。他のグループででた大山崎の人材バンク(?)のような話と相性が良さそうです。 公民館の例をいくつか示していただきましたが、震災復興の背景がある公民館や、自治体規模の違う公民館では、参考にはなるものの、真似できない規模なので、大山崎町と等身大の事例を教えていただけると嬉しいです。

回答内容の一覧				
②新しい機能として 「一番、重視すべき」こと	③図書館の機能として 「一番、重視すべき」こと	④公民館の機能として 「一番、重視すべき」こと	⑤老人福祉センターは 改築対象に含めた方が良い？	その他 アイディア、次回の進め方など
多世代交流	スペース、閉館時間の延長	大ホール復活	2. 含めない方が良い	
気軽に(フリー)利用出来る談話(打合せ等も含む)のスペース	地元の資料(歴史・文化等)の充実	各年代の人が気楽に出入りができる施設	2. 含めない方が良い	
前提として「大ホール」使用禁止にした 総括要:絶対 コロナ自粛でお年寄りに与えたダメージ大。ハード・ソフト面で「使い易い」公民館へ	人の充実(図書士を置く) 書籍の充実、一服できる機能・スペース	大ホールの充実、エレベーター必須 バリアフリー、ジェンダーフリー	2. 含めない方が良い	議会の動向? 調査費・設計費・工事費の予算的裏付け? 完成時期の明示? 完成後のメンテナンス留意?
居心地の良い建物であること(そのためにも改築ではなく建て替えを)	CD、DVDなどの資料の貸借や、新聞雑誌等有料データベースにもアクセスできるようなPC利用を可能にすること	町民の文化活動の支援(部屋やホールの貸し出しだけでなく、無料で使用できるちょっとしたミーティングスペースや格安料金のコピー機、印刷機の設置など)	2. 含めない方が良い	現在の利用者の話を聞いて、補助金目的の複合施設のために老人福祉センターを含めるのはもったいないと感じました。保健施設の一部を組み込むことで複合施設にすれば良いのでは。 人を集めるためのマルシェや100%地下水の井戸の設置は面白いアイデアだと思いました。
用がなくても滞在できる、第二の居場所に慣れる「オープンフリースペース」	図書館法にて定められる、図書館の機能を果たしうる図書館サービスを実現する総合的な機能。 「特に教養、調査研究、レクリエーション等に資すること」のために、貸し借りだけでなくレファレンスサービスの実現。	町の情報が一手に集積される街の広報板としての機能。 それを実現するために、ギャラリーや催し物情報板、フリースペース、貸しスペース、ホール等が必要と考える。	2. 含めない方が良い	町役場としては、公民館の機能はどういうものだと考えているのか知りたい。
ロビー、施設の中心となる広間的なスペース	PCなどを置いて調べものができるスペース	知りたいこと、やりたいことができる環境(人とのつながり、施設)	2. 含めない方が良い	
”つながり”を持つオープンスペース	レファレンス機能、本を通じたコミュニケーションスペース	発表の場所	2. 含めない方が良い	←含めないが、新しいコミュニケーションスペースとの空間的つながりを持たせると、クロストークが生まれ活性化できると思う。大きな機能をスペースを取り囲むようにデザインして、“大山崎”をイメージできる建物デザインに。
立ち入りできないような庭は不要、テラスのあるテラスにして欲しい	ふと立ち寄りたくなる設計		2. 含めない方が良い	公民館はサークル員でなくても利用できる。そうした規則は参加者で共有しておいた方が良くと思う
多世代	開放したコーナー	大ホールは重要、ロビー・ギャラリー・屋上テラス	2. 含めない方が良い	

回答内容の一覧				
②新しい機能として「一番、重視すべき」こと	③図書館の機能として「一番、重視すべき」こと	④公民館の機能として「一番、重視すべき」こと	⑤老人福祉センターは改築対象に含めた方が良い？	その他 アイディア、次回の進め方など
下記⑥に詳述しましたのでそれを参照していただきたいのですが、家や学校・職場では満たされない、「第3の場所としての機能」を持つ空間があったら良いなと思っています。	本のコンシェルジュ、すなわち本に関する、よろず相談やアドバイザーとなる機能を持つことができれば、本を借りるばかりではなく、本を媒介に住民の様々な交流が生まれ、それにより公民館全体の活性化や住民としての共同体意識がより強まり、大山崎町に暮らして良かったと思う住民が増えることにより、町の魅力も一層増すような気がします。また、そのコンシェルジュは特定の職員だけが担当のではなく、いろんなジャンルの得意分野を持つ住民が必ずいるはずなので、その方々を”発掘”して参加を促すこともできると思います。	社会教育法第20条にあるとおり、公民館は「住民のために、実際生活に即する教育、学術および文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする」ところですが、そのうちで最も重視すべきだと私が考えるのが「住民の教養の向上」です。人が人として成り立つためには教養は欠かせません。我が国だけでなく先進諸国を眺めても、今こそ教養の向上を図る必要があると切実に思います。そのためにも、ぜひ公民館図書室を図書館へと、その機能を拡充してほしいと願います。	3. 分からない 補修と改築の両方の観点から、コストとそのセンターが担う機能をそれぞれ洗い出して最終的に決定すべきですが、私自身の知見が不足しているため	公民館を「サード・プレイス」として、人々が集う場所にしたいです。 第1の生活を営む自宅でもなく、第2の一日で最も長い時間を過ごす学校や職場でもない、第3の場所＝「サード・プレイス」として人々が集う場所をつくりたいと願います。アイディアはアメリカの社会学者レイ・オルデンバーグからいただきました。彼によると、サード・プレイスこそが現代社会において重要であるとされます。サード・プレイスは人々のより創造的な交流が生まれる場所となりえます。そのポイントは、①無料あるいは安価で利用できる。②食事や飲料が提供される場合がある。③アクセスが良く歩いていけるような場所にある。④習慣的に集まってくる。⑤フレンドリーで心地良い。⑥古い友人も新しい友人も見つかる場所。そして、その具体的な内容として以下の8つの特徴があげられています。 1. 中立領域：サード・プレイスの構成者は義務感からそこにいるのではありません。人々は、経済的、政治的、法的に縛られることなく、喜んでやってきます。 2. 平等主義：サード・プレイスは、個人の社会における地位や肩書にとらわれません。経済的・社会的地位に過度の意味をこめず、ありふれていることが許されます。サード・プレイスでは参加するために、特別な必要条件を求めません。 3. 会話を楽しめる場所：遊び心や楽しい会話がサード・プレイスの活動が主にめざすところ。なにげない会話や、ユーモアや遊び心に満ちて、優しい気持ちになれる場所です。 4. 通いやすさと整った設備：サード・プレイスは開かれた空間で、皆が訪れやすい環境にあり、柔軟に住民に親身な施設であることで、集まる人々の要望に応えます。 5. 常連や会員：サード・プレイスには、常連として集う人々もいて、安定した空間や環境を形成します。その場所らしさは彼らに負うところが大きいです。一方で、新たな訪問者を惹きつけ、新参者にも優しいところであるべきです。 6. 控えめな態度や姿勢：サード・プレイスは、健全な場所であり、その中には無駄遣いや派手さは見られず、家庭的な温かい印象があります。偉ぶったり排他的ではなく、いかなる個人やあらゆる階層の人々も受け入れます。 7. 機嫌がよく：サード・プレイスでの会話の雰囲気は、けっして緊張や憎悪を生みません。その代わりに、陽気で機知に富んだ会話や気さくな冗談が歓迎され、人々を楽しみやすい気持ちにさせます。 8. 第二の家：サード・プレイスにいる人々は、しばしば温かい感情を共有します。あたかも同じ家に暮らす者同士のように。この場所に根ざしている感情を持ち、精神的にも安定感を得ることができます。 新しい図書館が、以上のような特徴を持った場所として存在してほしいと心から願います。 最後になりましたが、公民館のデザインも重視してほしいと考えます。大山崎町には聴竹居や大山崎山荘美術館、そして隣りの島本町にはサントリー山崎工場と、全国的にも価値ある建築が身近な存在としてあります。新しい公民館も内装だけでなく外観も木材を多用した、デザインの優れた建物であってほしいです。関連サイトを紹介しておきます。 http://www.sendo-shien.jp/02/ https://www.mlit.go.jp/common/001355780.pdf
バリアフリー	広さ、フリースペース	フリースペース	3. 分からない	
やはり、町のシンボルとなるような場所を作ってほしい。 あらゆる世代が立ち寄り居場所となる広場のようなもの。 ロビーやカフェ、屋外ベンチなどくつろぎスペースをたくさん作り施設利用者やそうでない人も気軽に集まれる場所にしてほしい。	蔵書の充実ももちろんなのですが、今不足していて絶対必要なものは閲覧スペースの充実です。 子どもたちが絵本を広げられる場所、中高生が調べものしながら勉強できる場所、ゆったり読書できる場所、など、あちこちに椅子やテーブルがあったらいいな。少人数で本について語り合える場所も、ほしいですね。	すべての人が趣味や学習、人との交流がしやすい場所の提供。発表の場としてのホールも必要。 使いやすくするためにバリアフリーやネットで予約や空室確認。個人で使えるような小スペース。 今使っていない世代に利用してもらうために、働く世代のためのワークスペースや若者が趣味のサークルを作りやすくするための工夫も必要だと思う。	3. 分からない 話し合いの中で長寿園利用者の方が今とても居心地よく利用している、と聞いたので。 複合化する必要あるのかな？と。 世代間のコミュニケーションを広げたいという思いからは含める方がいいと思うのですが。	今回グループでの話し合いをしてみて、同じテーマなら世代を越えてこんなに熱く語り合えるものかと、感激しました。違った立場からの意見を聞き私自身の考えも幅が広がったと思います。 次回もグループでの討論がしたいのですが、より具体的に話を進めていくならばプロの建築設計の方にグループに入っていただき出来ることや出来ないことのアドバイスをしていただけたらな、と思いました。

新施設の規模計画

- ① 複合化することで全体面積を縮小し、維持管理コストを低減する。
- ② 用途・規模が類似した部屋は統合して1室とし、利用頻度が高く利用実績ある部屋は独立した部屋として残す。

資料 3-1

	現在の機能・規模	新施設の機能・規模	他機能とのつながり、配置上考慮すること
新しい機能 供用の空間		○新しい機能の追加で、現在の面積と同等か少なく ○開放的なロビーを中核とする建物 ○シームレスな空間、柔軟に使える場所	○広く見渡せる景色の良いテラス ○屋上を緑化（芝生）してイベントにも利用 ○芝生と部屋を一体的に利用
図書の機能 面積増加	公民館内図書室 160 ㎡、 蔵書数：2.2 万冊	○現状の 2～3 倍程度（320～480 ㎡） ○職員数をむやみに増やさない ※図書館として整備する場合 人口×0.05≒800 ㎡、蔵書数 9.6 万冊が理想の規模 （日本図書館協会「公立図書館の任務と目標」）	○庭（テラス席）をつくる ○木の香りだだよう空間
公民館の機能 （図書室除く） 面積減少	本館 1368 ㎡+別館 919 ㎡+陶芸室 19 ㎡=2,306 ㎡ （本）集会室 256 ㎡(240 人)+ステージ 46 ㎡=300 ㎡ （本）実習室 98 ㎡（50 人）流し台付 （別）大研修室 160 ㎡（140 人） （別）中研修室 80 ㎡（30 人） （別）小研修室 44 ㎡（20 人） （本）子育て支援室 60 ㎡ （別）料理室 77 ㎡（35 人）調理台 7 台 （本）和室 80 ㎡（2 部屋で 30 帖+押入+広縁） （別）和室 42 ㎡（20 帖） （本）講座室 80 ㎡（48 人） （本）会議室 40 ㎡（20 人） （本）談話室 20 ㎡（12 人） 陶芸室 19 ㎡ → 類似室と統合 すると想定	統合できる諸室を除くと、2,100 ㎡程度 大ホール：250～300 人、350～400 ㎡程度 実習室 100 ㎡（現況同等）床土間仕様、流し台付 大研修室 160 ㎡（現況同等） 中研修室 80 ㎡（現況同等） 小研修室 45 ㎡（現況同等） 子育て支援室 70 ㎡（現保健センターと同等） 料理室 80 ㎡（現況同等）調理台 7 台付 和室 80 ㎡、30 帖以上（現況同等、2 分割可） 陶芸室 20 ㎡	・天井高確保のため上階は吹抜け（1 階設置） ・屋外との一体利用を考慮 ○防音リハーサル室、ダンス室として ○サークルの練習風景が見える ○屋外との一体利用を考慮 ○陶芸施設をよりオープンに
保健センターの機能 面積減少	830 ㎡+屋上体操スペース 200 ㎡ 集団指導室 120 ㎡、診察室 32 ㎡、機能訓練室 98 ㎡ データ保存室 15 ㎡、消毒室 15 ㎡ 健康相談室 35 ㎡ 健康教育室 70 ㎡(ゆめほっぺ) 栄養指導室 70 ㎡調理台 5 台 → 類似室と統合 すると想定	統合できる諸室（2 階部分）を除くと、500 ㎡程度 集団指導室 120 ㎡、診察室 30 ㎡、機能訓練室 100 ㎡ データ保存室 15 ㎡、消毒室 15 ㎡	・検診車停車スペースとのつながり考慮 ○健康診断で利用しない時は貸し部屋 ○健康相談窓口
老人福祉センターの機能 面積減少	768 ㎡ 機能回復訓練室 62 ㎡、浴室 50 ㎡、相談室 20 ㎡ 大広間 75 帖、ステージ 和室 10 帖×3 室 → 類似室と統合 すると想定	統合できる諸室を除くと、400 ㎡程度 機能回復訓練室 62 ㎡、浴室 50 ㎡、相談室 20 ㎡ 浴室に近接した位置にトイレと休憩コーナー	・送迎バス停車スペースとのつながり考慮
床面積計	老人福祉センター含む 4,064 ㎡ 老人福祉センター除く 3,296 ㎡	老人福祉センター含む 3,500 ㎡程度 老人福祉センター除く 3,100 ㎡程度	

■ゾーニングの考え方

- ①道路沿いに、ロビー・ギャラリー・カフェ、図書閲覧席など賑わいが生まれる空間を配置
- ②不特定多数、多世代の利用、人の出入りが多い研修室・ホールは1Fロビーに面して配置
- ③ロビーに面する2Fの落ち着いた空間に図書閲覧席を配置（ガラス越しに天王山の眺望）
- ④水害時の一時避難場所として、公民館機能の一部諸室は2階以上の階に配置（1階は浸水の可能性有）
- ⑤屋外とのつながりを重視する諸室（子育て支援・実習室等）は屋上階またはテラスに面して配置
- ⑥老人福祉センターは、送迎車との関係を考慮、また現在の使い勝手から大きく変わらないよう、1階に配置

■A. 老人福祉センターあり 延床面積 3,500㎡程度

メリット

- ・多世代交流のコンセプトでよりコンパクトに集約できる
- ・建替えまたは継続利用のライフサイクルコスト50年の比較で、大きな差はない（別紙：H30施設整備検討計画）
- ・老人福祉センターの利用者層が広がる

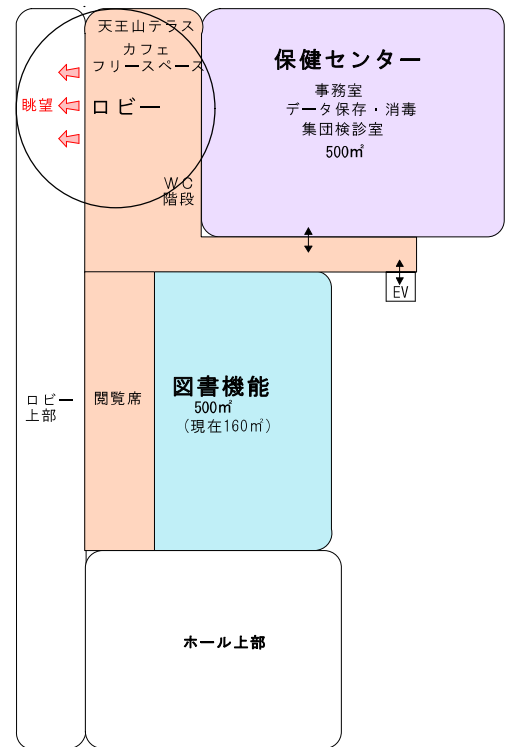
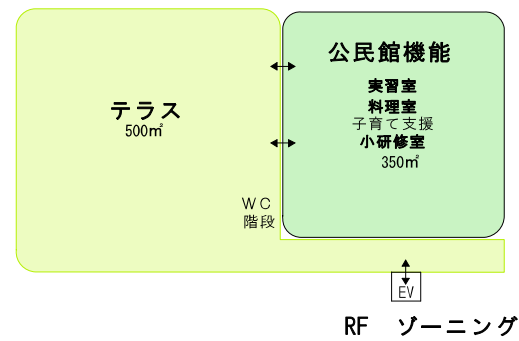
デメリット

- ・共用する諸室がお年寄り専用でなくなる

老人福祉センター定義

無料又は低額な料金で、老人に関する各種相談に応ずるとともに、老人に対して、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与することを目的とする。（老人福祉法第20条の7）

機能別床面積	
共用	900㎡
図書機能	500㎡
公民館機能	1,200㎡
保健機能	500㎡
老人福祉機能	400㎡
テラス	（RFテラス500㎡）
計 3,500㎡	



2Fゾーニング

■B. 老人福祉センターなし 延床面積 3,100㎡程度

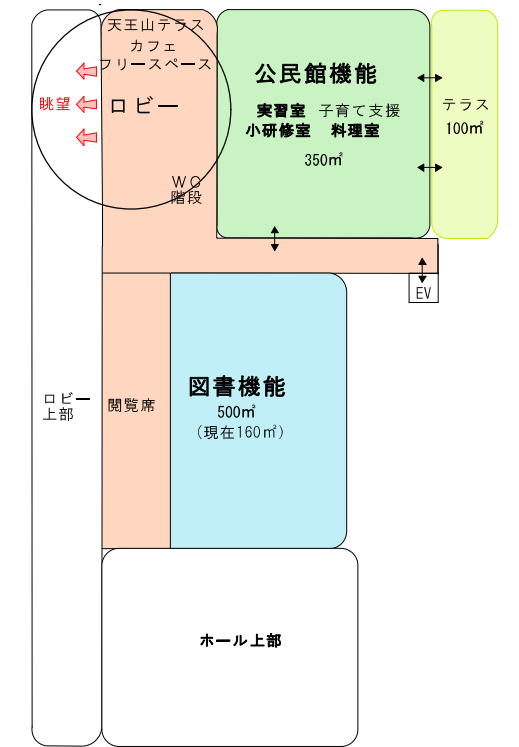
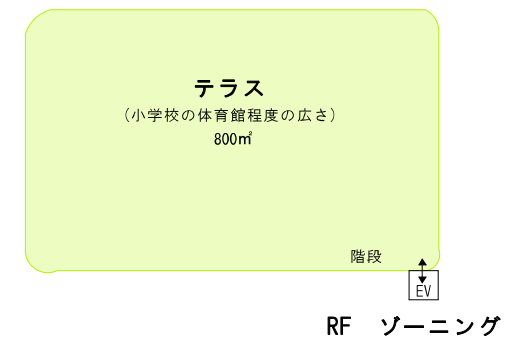
メリット

- ・長寿苑を引き続いてお年寄りが優先的に利用できる

デメリット

- ・長寿苑との多世代交流は現状よりも進みにくい
- ・老人福祉センターの利用者層が広がりにくい

機能別床面積	
共用	900㎡
図書機能	500㎡
公民館機能	1,200㎡
保健機能	500㎡
テラス	（RFテラス800㎡）
計 3,100㎡	



2Fゾーニング

*本ゾーニング図はイメージであり、部屋の配置を決定するものではありません。

司会進行役：	
発表役：	
議事メモ役：	
タイムキーパー役：	

論点	第3回ワークショップの意見
論点① 広場・ロビー・テラス の活用アイデアは？	
論点② 施設規模について 気になる点は？	
論点③ 優先すべき 部屋の配置や つながりは？	
論点④ 老人福祉センターを 含める理由 含めない理由	
その他の論点 配置で考慮する ことは？	

令和2年11月21日

第3回中央公民館改築整備基本計画 ふりかえりシート

A. 本日提出いただける方 → お帰りの前に提出ください

B. 後日、提出いただく方 → メール、FAX、持参等で提出ください

- ・メール：kanzai@town.oyamazaki.lg.jp
※ 紙に手書きしたものを写真で送っても構いません
- ・FAX：075-957-1101
- ・提出先：総務部 政策総務課 中央公民館改築整備基本計画担当

①お名前

②広場・ロビー・テラスの活用アイデアや参考事例はありますか？

③施設の規模について、気になる点はありますか？

④部屋の配置で、優先すべき部屋の配置やつながりは何ですか？

⑤老人福祉センターを合築対象に含めるか・含めないか？（1つに○）

1. 老人福祉センターを含める方が良い
2. 老人福祉センターを含めない方が良い
3. その他（ ）

⑥その他 アイデア、次回の進め方など（何でも可）

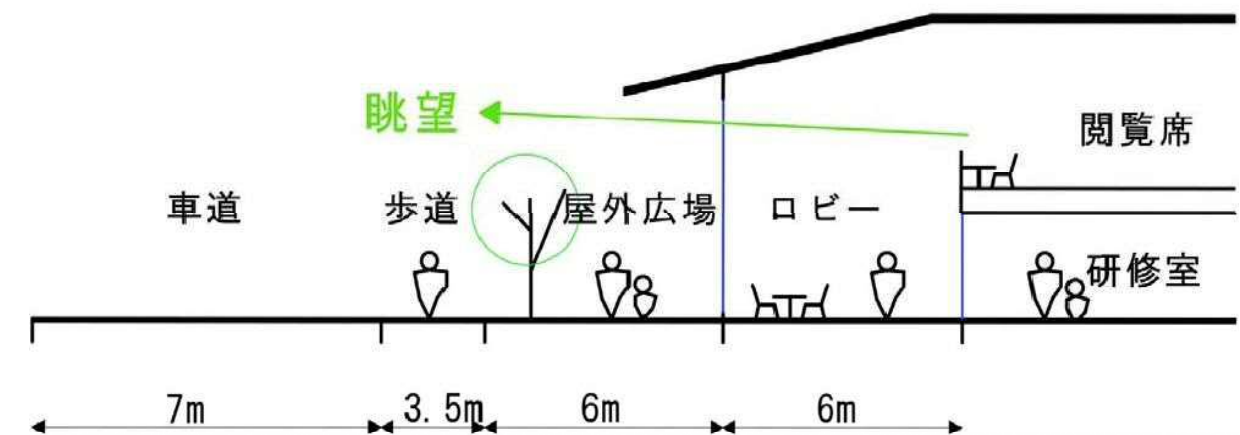
ご協力、ありがとうございました。

■ロビーイメージ



- ①研修室～ロビー～屋外広場～歩道～車道空間の連続性
視覚的に空間をつなげることで、人の流れを生み出し、学習・活動のきっかけをつくる
- ②図書閲覧席～ロビー～天王山
ロビーのガラス越しに天王山を眺めながら読書や休憩

■断面イメージ



*現在の大研修室前ロビーの幅は6mです。

*現在の大研修室の幅は10mです。

4. 施設整備の概算費用

計画対象区域内の各施設の整備方策について、本計画の中で施設単独での建替えや長寿命化改修、そして、複合化による複数案の整備方策を示しましたが、それぞれの施設整備を行うために必要となる費用の概算費用は下記のとおりとなっています。

また、安心・安全に利用できる施設を保ち、長期的な使用に耐えうる施設とするためには、施設整備後も必要に応じて修繕や大規模な改修が必要となってきます。また、日々の維持管理としては、光熱水費や設備関係の定期点検に掛かる費用、また施設清掃費なども必要となってきます。

これら施設に掛かるランニングコストも含めた 50 年後の概算費用は下記のとおりとなっています。

4－1. 計画対象区域内の施設の建替えによる概算費用

「3－2. 施設の建替えによる整備方策の検討」において、中央公民館、老人福祉センター（長寿苑）、保健センターの建替えの検討について示しましたが、それぞれの施設を建て替えた場合の建設工事費と既存施設の解体工事費及びランニングコストも含めた 50 年後の概算費用は下記のとおりとなります。

なお、既存施設と同規模の建物を建て替えた場合と仮定し、概算費用を算出することとします。

【建替えに掛かる概算費用】			
施設名称	解体工事費	建設工事費	ランニングコストを含めた 50 年後の概算費用
中央公民館 本館	6,000 万円	5 億 5,000 万円	14 億 7,000 万円
中央公民館 別館	4,000 万円	4 億 3,000 万円	11 億 6,000 万円
老人福祉センター （長寿苑）	3,000 万円	2 億 8,000 万円	7 億 5,000 万円
保健センター	3,000 万円	3 億 0,000 万円	8 億 1,000 万円

※解体工事費の概算費用は一般財団法人建設物価調査会「建築コスト情報」に基づく。
※建設工事費の概算費用は総務省「公共施設更新費用試算ソフト」に基づく。
※ランニングコストの概算費用は「国家機関の建築物等の保全の現況（平成 29 年 3 月 国土交通省）」、「建築物のライフサイクルコスト（平成 17 年 国土交通省）」に基づく。

4－2. 計画対象区域内の施設の長寿命化改修による概算費用

「3－3. 施設の長寿命化改修による整備方策の検討」において、計画対象区域内のそれぞれの施設が抱える老朽化やバリアフリー化の課題などを解消するための方策として、長寿命化改修について検討を行いました。

それぞれの施設で長寿命化改修を実施した場合の改修工事費の概算費用とランニングコストも含めた 50 年後の概算費用は下記のとおりとなっています。

【長寿命化改修に掛かる概算費用】		
施設名称	改修工事費	ランニングコストを含めた 50 年後の概算費用
中央公民館 本館	3 億 4,000 万円	15 億 4,000 万円
中央公民館 別館	2 億 7,000 万円	12 億 2,000 万円
老人福祉センター （長寿苑）	1 億 5,000 万円	7 億 9,000 万円
保健センター	1 億 7,000 万円	8 億 6,000 万円
福祉センター （なごみの郷）	1 億 8,000 万円	6 億 3,000 万円
清掃庁舎	9,000 万円	2 億 7,000 万円

※改修工事費の概算費用は総務省「公共施設更新費用試算ソフト」に基づく。
※ランニングコストの概算費用は「国家機関の建築物等の保全の現況（平成 29 年 3 月 国土交通省）」、「建築物のライフサイクルコスト（平成 17 年 国土交通省）」に基づく。
※中央公民館本館の耐震改修工事費は、上記の概算費用には含まれていません。
※中央公民館や保健センターへエレベーターを設置するための費用は、上記の概算費用には含まれていません。